

函館工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	都市空間デザイン	
科目基礎情報							
科目番号	0113			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	社会基盤工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	／適宜プリント配布						
担当教員	山崎 俊夫						
到達目標							
1. 都市をデザインするための基礎的事項を理解している。 2. 都市デザインの高度化のための整備手法を理解している。 3. 都市デザインの実現化方策について理解している。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建築・都市の法規制に基づく多様な都市デザインの手法について理解している。			建築・都市の法規制を理解している。都市デザインの手法を挙げることができる。		建築・都市の法規制を理解していない。都市デザインの手法を挙げることができない。	
評価項目2	都市デザインの高度化がもたらす都市整備の効果について理解している。			都市デザインの高度化手法を挙げることができる。		都市デザインの高度化手法を挙げることができない。	
評価項目3	参加のデザインによる都市デザイン方策や多様な事業手法を理解している。			都市デザインを実践するための方策を理解している。事業手法を挙げることができる。		都市デザインを実践するための方策を理解していない。事業手法を挙げることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 B JABEE学習・教育到達目標 (B-2)							
教育方法等							
概要	高齢社会、人口減少社会に突入した我が国においては、今後の都市のあり方には環境と調和し自然と共生できる新たな方向性が望まれている。こうした中、都市デザインはまちづくりの中心的な課題となっている。この科目では、都市デザインの理念、歴史、事例、手法などに関する広い知識を習得することにより、都市デザインを構想する高い企画力と批評性を持つ技術者を養うことを目指す。						
授業の進め方・方法	この科目は「都市計画」との関わりが深いとともに、建築・交通・観光・自然・情報など多様な分野に関連する知識が必要となる。講義において新たに身に付けた知識を実践的なものとするためには、多様な分野の知識を積極的に身に付けようとする前向きな姿勢が必要である。講義はスライドを中心に行うが、教材はTeamsを通じて配布するほか、極力ビジュアルな情報提供を心がける。定期試験の評価の内訳は、中テスト30%、期末試験30%である。講義に関するレポートを毎回出題し、これをFormsで回答させる。都市デザイン提案ポスターをグループワークにより作成する。中間時にレポートを提出し、後半においてポスターセッションを行う。						
注意点	「社会基盤工学専攻」学習・教育到達目標の評価： 中テスト(B-2) (30%)、期末試験(B-2) (30%)、講義レポート(B-2) (10%)、中間レポート(B-2) (10%)、ポスターセッション(B-2) (20%)						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス・総論（都市デザインとは）		都市デザインの意義と目的について理解できる。		
		2週	まちづくり計画の基礎(1)		建築基準法（集団規定）および都市計画法に基づくまちづくり計画の基礎が理解できる。		
		3週	まちづくり計画の基礎(2)		街路景観、建物日影、街路のデザイン、水辺のデザイン、河川景観、緑のデザインについて理解できる。		
		4週	交通と都市デザイン		交通手段と調和した豊かな都市環境をデザインする方法が理解できる。		
		5週	街路景観のデザイン		街並み整備の手法と電線類地中化について理解できる。		
		6週	商店街の再生と都市デザイン		衰退した商店街を再生する都市デザインの方法と試みが理解できる。		
		7週	参加のまちづくりと都市デザイン(1)～課題説明～		市民参加と協働の方法を理解し、参加のデザインの在り方が理解できる。		
		8週	参加のまちづくりと都市デザイン(2)～現地調査～		市民参加と協働の方法を理解し、参加のデザインの在り方が理解できる。		
	4thQ	9週	中テスト／中間レポート提出				
		10週	京都の町並みデザイン		京町家と京都の町並みの特性について理解できる。		
		11週	水辺のデザイン・緑のデザイン		河川環境整備とグリーンインフラについて理解できる。		
		12週	環境共生型住宅都市		環境共生と都市ならびに住宅のありかたについて理解できる。		
		13週	都市デザインと情報処理		高度な情報処理システムによる都市デザインの方法が理解できる。		
		14週	都市デザイン提案プレゼンテーション		課題解決のためのデザイン表現をパワーポイントで作成し、プレゼンテーションできる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験答案返却・解答解説		試験問題の解説を通じて正しい解答を理解できる。		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	都市計画法と都市計画関連法の概要について、説明できる。	2	
				緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	2	
				土地区画整理事業を説明できる。	2	
				市街地開発・再開発事業を説明できる。	2	
評価割合						
	定期試験		講義レポート	中間レポート	ポスターセッション	合計
総合評価割合	60		10	10	20	100
基礎的能力	0		0	0	0	0
専門的能力	60		10	10	20	100
分野横断的能力	0		0	0	0	0